

科目名・単位数		構成		(4)単位	学習レベル	応用
学習目標 ① 構成力や色彩感覚等、基本的な表現力を学ぶ。 ② テーマやイメージを、自分のねらい通りに表現できるようにする。 ③ 鑑賞活動を積極的に行い、それぞれの感受性を高め、自己の制作活動を深化させる。						
学期	学習内容	学習のねらい	提出物			
前期 (4月～9月)	4月 オリエンテーション 4月 色面分割 5月 「光」をテーマに色彩構成する。 6月 構図の基本 6月 構成要素が定められている課題クリップをモチーフにして色彩構成 7月 クリップをモチーフにして色彩構成 9月～10月中旬 複数のモチーフを基にして色彩構成 手とスプーンを基にして色彩構成	・年間の授業計画と基本的な心構えを準備 ・単純化した色面で、物の形態や構造感などを表現できることを学ぶ。 ・「光」からイメージする事柄を基にして、色彩構成する。イラスト・マンガ風、写実的な表現等、表現方法は自由である。 ・デザイン・絵画等の作品を基にしなが、構図の基本を学ぶ。 ・具体的な物をモチーフにする。 ・物の形態や構造、素材感などを観察。そこから主張したい要素を見せられるように、形の表現、構成を考える。 ・複数のモチーフを用いて魅力的な画面を構成する。 ・構成パターンを工夫する。	作品			
	後期 (10月～3月)	10月中旬～11月 大きなテーマを基にして色彩構成 動物をテーマにして色彩構成 12月 抽象的なイメージと物を組み合わせて色彩構成 人体をモチーフにして、「喜・怒・哀・楽」を表現する。 1月～2月初旬 単語からイメージした色彩構成 「重い」と「軽い」のイメージを色彩構成	・大きなテーマを基にし、イメージを膨らませて構成する。種類・機能・状況・特徴などからねらいをしぼる。 ・人体の1部分(目・手・口など)や、身体の形(ポーズ)をモチーフにして、感情を表現する。 ・形・色・線のイメージを表現したい内容に活かすようにする。 2つの異なったイメージを画面内で表現する。 ・形・色・線のイメージを表現したい内容に活かすようにする。具体的な物を描くかどうかは自由である。	作品		
評価の観点と方法 ① 関心・意欲・態度を評価する。(出席状況や授業態度も含まれる。) ② 制作過程における工夫や努力を評価する。 ③ 鑑賞を通じて、自己の感性をいかに向上させているのかを評価する。						
使用教科書・副読本					実習費	1,000 円
教材・道具等						